

製本のススメ

Vol. 190

関東の梅雨入りも秒読みでしょうか 連日雨が降りますね。オリンピックを目前に、一向に収束しないコロナウイルス。ワクチン接種も始まりましたがまだまだ不安の解消には繋がりませんね。心の春は何時くるのでしょうか。

今回も**製本工程から見た造本企画の注意点**のシリーズ②です

さて 189号で 横長本について少々書きましたので、もう少し追記をさせていただきます。横長本は通常の縦型にはみられない欠点があります。それが紙目と密接な関わり合いがあり、顧客との思わぬトラブルになる場合が有ります。

特に**オンデマンド等の出力印刷の場合に多く発生する「紙の波うち」**です。

縦型の本でも 当然それは起こっていますが極端には目立ちません。また上製本のような加工では、作業上 何回もプレスされますのでその中で、かなり成形され、紙の波うちは殆ど解消（又は目立たない）していきませんが、**横型本では難しく紙目による波打ちが目立ってしまいます**。オンデマンド等の出力印刷の際には、顧客に対してその旨を知らせておくべきでしょう。

横長本の利点としてはワイドの広さですね。A4ならば見開きで 400 ミリ以上は迫力です。その為絵本や写真集などに多く横長が用いられますが、左右のページで絵合わせも多く、気を遣う所です。堅牢さを重視して糸綴りが多く使われていますが、糸綴りの場合には糸の色を折丁ごとには変えることができませんので **見開きのページに糸の出ることが無いように デザインを決めていくか、顧客に予め確認を取っておくこと**をお勧めします。

いずれにせよ 横長本はイレギュラーな事柄が多く発生していきますので企画の段階で顧客と十分な打ち合わせと、納期の確保が必要です。

造本には色の発色や校正が大切ですが、**最終的に【本】という形になった時に顧客の意図に反していないか**も大切です。特にオンデマンド出力の場合には注意してください。



Teabreak

今回の東京オリンピックのマラソン競技は北海道での開催となりましたね。さてマラソンコースも色々ですが、規則で距離は決まっています。その為 中途半端な所にスタートやゴール地点を決めるわけには行きません。毎回 陸連では新しいコースを決めるにあたり、いまでも計測器で人が実際に歩き、距離を測っているそうです。その上でコース造りが行われているのですね。正しい距離が正しい記録につながる！なんだか背筋が伸びますね。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本